

平成23年4月5日
日本年金機構

「年金額回復の具体的事例」の記録回復状況

平成22年4月2日(第1回)から平成23年3月25日(第50回)まで、年金記録回復による年金額の増額上位10事例を毎週公表してきたところ。

これまで公表した500事例の回復した記録の所在と状態は以下のとおりである。

1. 回復した記録の所在と状態 (「別紙1」参照)

(1) 記録の所在

オンライン記録	520件	58.6%
マイクロ記録(厚生年金紙台帳)	367件	41.3%
その他(共済組合記録)	1件	0.1%
計	888件	

(2) 記録の状態

転職などによる複数手帳保有者	348件	39.2%
旧姓名	290件	32.7%
氏名(読み仮名)相違	151件	17.0%
生年月日相違	74件	8.3%
その他(※)	25件	2.8%
計	888件	

※その他は、加入期間相違、報酬相違、総務大臣(第三者委員会)あつせん

注: 同一事例で複数の所在や状態に該当することがあることから、事例の件数(500事例)とは相違する。

参考1 記録判明により初めて年金受給権が発生した事例 32 事例
(記録判明の契機は「別紙2」参照)

参考2 ①500事例平均増加額(※) 約1,553万円

(増加額の分布は「別紙3」参照)

②初めて年金受給権が発生した事例(32事例)の

平均増加額(※) 約1,573万円

※次のルールにより年金額の平均増加額を機械的に算出したもの

基本的に各ケースの受給開始年齢から65歳時点の平均余命(男性+18.88歳、女性+23.97歳)までの期間(この平均余命を超えているケースは現在年齢までの期間、すでに死亡されているケース(未支給分)は死亡時までの期間)について受給すると仮定して機械的に計算した金額であり、実際に支払われる差額ではない。(実際には、在職や雇用保険受給による支給停止等や物価スライドがあるが、これらによる支給額の変動は考慮していない)

参考3 記録訂正による年金額(年額)の増額[累積]【平成23年1月第2週】

(平成20年5月以降の累計)

件数 129万件

金額 672億円

2. 今後の留意点

上記の取りまとめ結果から、回復した「記録の状態」のうち、

- 転職などによる複数手帳保持者
- 旧姓名
- 氏名(読み仮名)相違
- 生年月日相違

が、全体の9割以上(97.2%)を占めており、新規の年金請求時においては、以下の事項について、ご本人への確認を改めて徹底し、「漏れのない正確な記録」で年金額を決定することとする。

なお、ご本人により「記録に漏れがある」と申出を受けた場合には、ご本人から提供された情報(旧姓名、氏名の読み仮名等)により、オンライン記録とマイクロ記録の双方を丁寧に確認することが必要。

○主な確認事項

- ・ 転職経験を有する方の記録の漏れの有無
- ・ 旧姓当時の記録の漏れの有無
- ・ 氏名の読み仮名を度々間違えられた経験の有無

特別便等により判明した記録の所在と状態

別紙 1

平成22年4月2日より平成23年3月25日までに週次公表した「年金額回復の具体的事例(500事例)」の記録の所在とその状態の内訳

		記録の所在					
		オンライン記録	マイクロ記録 (紙台帳等)	市町村保有記録	その他 (共済組合記録等)	計	
記録 の 状態	転職などによる複数手帳保有者	207	140	0	1	348	39.2%
	旧姓名	163	127	0	0	290	32.7%
	氏名相違(別名・別漢字・フリガナ)	100	51	0	0	151	17.0%
	生年月日相違(別生年月日含む)	40	34	0	0	74	8.3%
	加入期間相違(取得日・喪失日)	4	5	0	0	9	1.0%
	報酬訂正・報酬収録漏れ	2	7	0	0	9	1.0%
	総務大臣あっせん(第三者委員会)	4	3	0	0	7	0.8%
	その他	0	0	0	0	0	0.0%
	計	520	367	0	1	888	
		58.6%	41.3%	0.0%	0.1%		

注)一事例のなかで、記録の所在や状態が複数ある事例もあることから、事例の合計数と結果の合計数が相違する。

記録回復により初めて年金受給権が発生した32事例の記録判明の契機と状態

別紙 2

○平成22年4月2日より平成23年3月25日までに週次公表した「年金額回復の具体的事例(500事例)」の中で記録回復により初めて年金受給権が発生した32事例の記録判明の契機とその状態の内訳

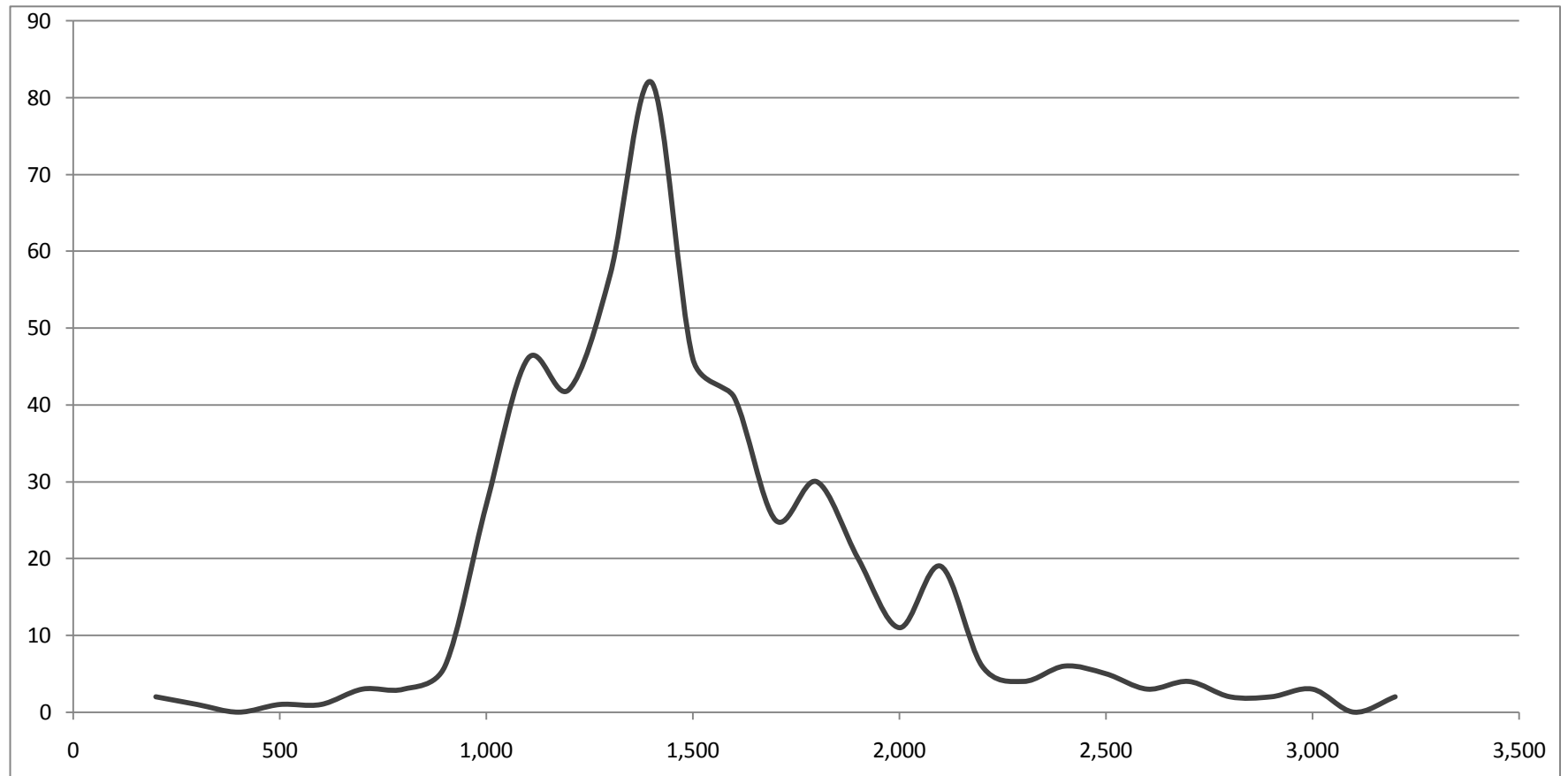
		記録判明の契機							
		ねんきん特別便 (名寄せ便)	ねんきん特別便 (全員便)	黄色便	グレー便	受給者便	第三者委員会	その他 (一般相談)	計
記録 の 状態	転職などによる複数手帳保有者	29		8				6	43 50.6%
	旧姓名	6	4	9				3	22 25.9%
	氏名相違(別名・別漢字・フリガナ)	4	3	2				2	11 12.9%
	生年月日相違(別生年月日含む)		3			4		2	9 10.6%
	加入期間相違(取得日・喪失日)								0 0.0%
	脱退手当金記録								0 0.0%
	その他								0 0.0%
	計	39	10	19	0	4	0	13	85
		45.9%	11.8%	22.4%	0.0%	4.7%	0.0%	15.3%	

注)一事例のなかで、記録の状態が複数ある事例もあることから、事例の合計数と結果の合計数が相違する。

年金増加額(機械的計算)の分布

(平成22年4月2日から平成23年3月25日まで毎週公表した「年金記録回復による年金額の増額上位10事例」50週分(500事例)の増加額の分布)

(件数)



(万円)